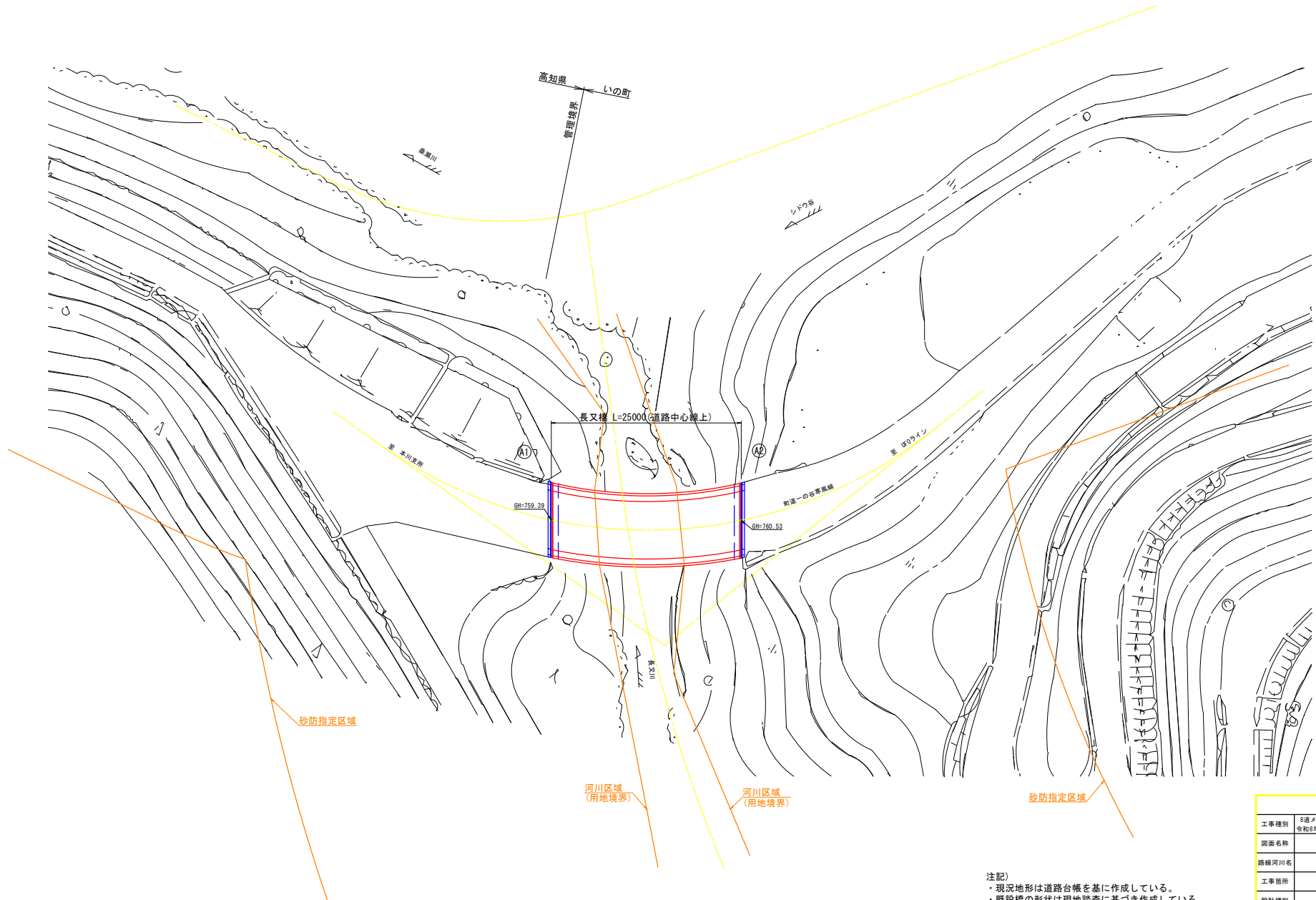


現況平面図

長又橋（一の谷寒風線）

S=1:250



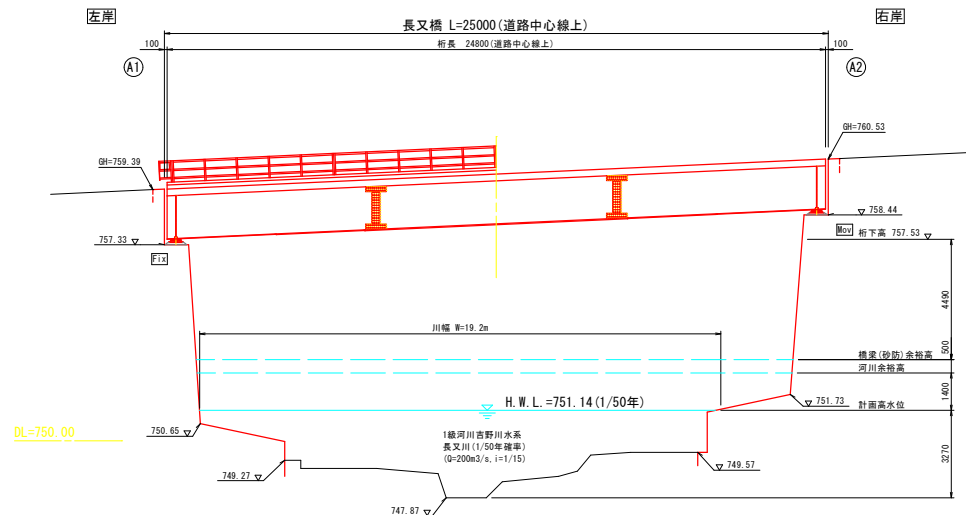
注記)
・現況地形は道路台帳を基に作成している。
・既設橋の形状は現地踏査に基づき作成している。
・渡河する河川はいの町管理である。
・長又川を渡河する本橋梁は砂防指定区域内にある。
※砂防区域は河川中心線から左右50mの範囲

いの町			
工事種別	8道メ第20号 令和5年度 一の谷寒風線長又橋構造補修工事		
図面名称	現況平面図	縮尺	1:250
路線河川名	長又橋（一の谷寒風線）		
工事箇所	高知県 香川県 いの町 桑瀬		
設計種別	実施図		
事務所名	いの町本川総合支所	図面 番号	1 12
会社名	産業建設課		

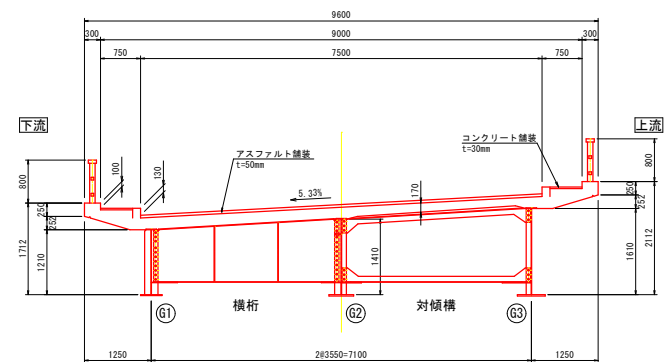
既設橋一般図

長又橋(一の谷寒風線)

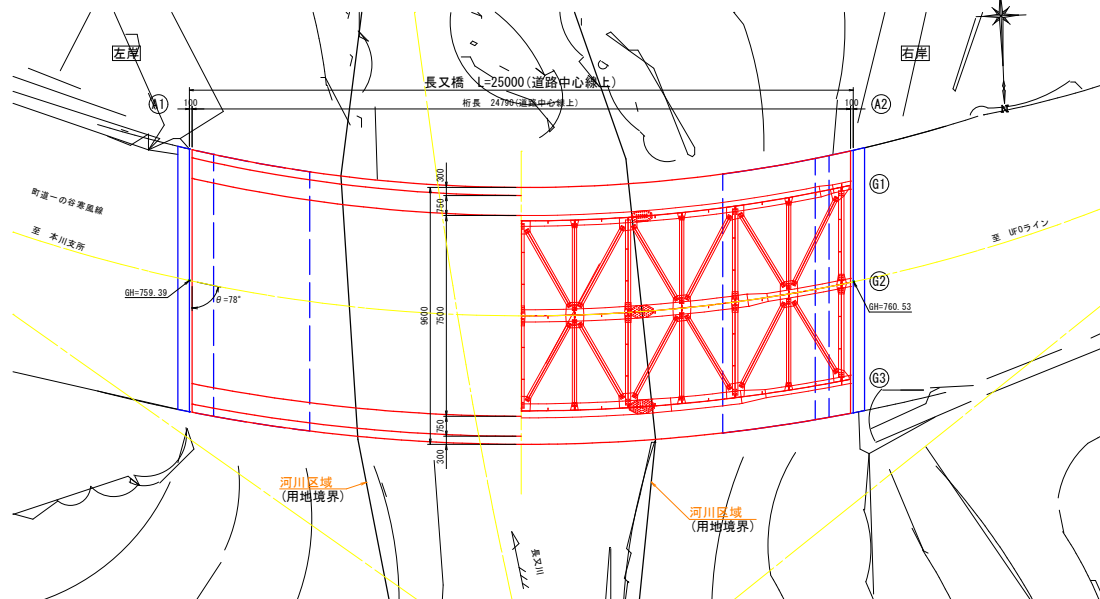
側面図
S=1:100



断面図
S=1:50



平面図
S=1:100



既設橋 設計条件(推定)		
橋 種	道路橋	
橋 長	L=25.00m	
幅 員	車道幅員	W=7.50m
	歩道幅員	W=0.75+0.75=1.50m
	合 計	W=7.50+1.50=9.00m
上部構造	鋼単純桁橋(曲線)	
	A1橋台	半重式橋台
	A2橋台	半重式橋台
	A1橋台	不明
基礎構造	A2橋台	不明
	一等橋(TL-20)	
設計荷重	θ=78°	
平面線形	θ=78°	
補修・補強履歴	塗装・塗装(H12.1)	
架設年次	1968(S43)年8月	
適用示方書	鋼道橋補修設計示方書(S39)	

河川条件		
河川名(管理者)	吉野川水系長又川(いの町)	吉野川水系シドウ谷(いの町)
砂防指定(管理者)	砂防指定(高知県)	砂防指定(高知県)
河川改修計画	当該区間なし	当該区間なし
降雨確率年	1/50年確率	1/50年確率
計画高水流量	Q=200m ³ /s	Q=300m ³ /s
土砂含有率	10%(整備状況不明)	10%(整備状況不明)
高水位算出方法	等流計算	等流計算
堤防余裕高	h=1.40m(h=3.27×0.4+1.31)	h=1.30m(h=3.25×0.4+1.30)

注記)
・現況地形は道路台帳を基に作成している。
・既設橋の形状は現地踏査に基づき作成している。
・渡河する河川はいの町管理である。
・長又川を渡河する本橋梁は砂防指定区域内にある。
※砂防区域は河川中心線から左右50mの範囲

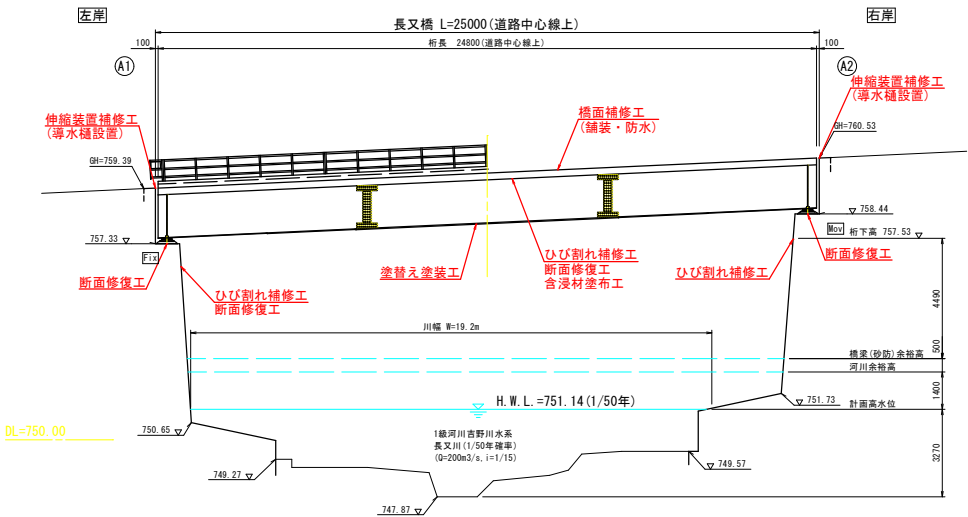
いの町

工事種別	8選メ第20号 令和8年度 町道一の谷寒風線長又橋補修工事		
図面名称	既設橋一般図	縮 尺	図 示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)		
工事箇所	高知県 吾川郡 いの町桑瀬		
設計種別	実施図		
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	2 12
会 社 名			

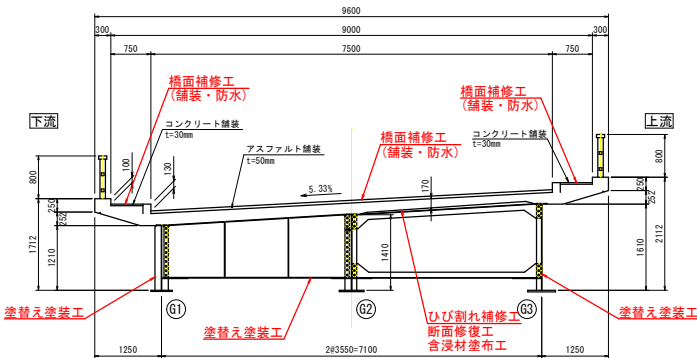
橋梁補修工一般図

長又橋(一の谷寒風線)

側面図
S=1:100



断面図
S=1:50



長又橋 損傷・補修一覧表

部材名称	損 傷				補修設計		備 考
	種 類	有無	判定区分	損傷の状態・原因	設計	対策工	
上部工 (鋼部材)	鋼材腐食 (防食機能の劣化)	○	判定区分	塗装劣化による鋼材腐食	○	塗装え塗装工	主鋼材、補部材とも腐蝕は局所的
	鋼材腐食 (板減あり)	○	判定区分	腐蝕は伸縮装置からの漏水・湧水、中央部は長尺からの漏水・湧水	○	塗装え塗装工	
	亀裂、破断	—	III	III			
	鋼板のうき	—					
	ゆるみ、脱落	—					
上部工 主桁・横桁 (コン部材)	ひびわれ	—					
	漏水・遊離石灰	○					
	剥離、鉄筋露出、浮き	—					
	豆板、欠損	—					
	ひびわれ	○					
上部工 床版 (コン部材)	ひびわれ	○	II	II	○	ひび割れ補修工	
	漏水・遊離石灰	○		鉄筋からの水の浸入	○	ひび割れ補修工	
	剥離、鉄筋露出、浮き	○		鉄筋のかぶり不足	○	断面修復工	
	豆板、欠損	○		コンクリートの施工不良	○	断面修復工	
	ひびわれ	—					
下部工	遊離石灰	○	II	II	○	ひび割れ補修工	
	剥離、鉄筋露出、浮き	—		鉄筋のかぶり不足	○	断面修復工	
	豆板、欠損	—					
	擁壁壁との隙間	○		経年劣化	○	モルタル充填工	
	洗濯	—					
支保工	腐食、防食機能の劣化	○	I	I	○	伸縮装置からの漏水・湧水による腐食	
	管渠モルタルの剥離	○		経年劣化、一部に浮き、欠損あり	○	断面修復工	
	機能障害	—					
	A・舗装のひび割れ、欠損	○		t=50mm、経年劣化	○	橋面補修工	
	C・舗装のひび割れ、欠損	○		t=30mm、経年劣化、舗装不足	○	橋面補修工	
橋面工	路面の凹凸	—	I	I	○	橋面補修工	
	伸縮装置の損傷、機能不足	○		漏水 (止水機能なし)	○	伸縮装置補修工	
	腐食、欠損	—					
	機能不足、漏水	—	I	I			
	変形、欠損	—					
排水工	腐食・塗装劣化	○	I	I	×		
	ポルトの緩み、脱落	—					
	ひびわれ	—					
	漏水・遊離石灰	—					
	剥離、鉄筋露出、浮き	—					
高欄工 (鋼部材)	豆板、欠損	—					
	腐食・塗装劣化	○	I	I	×		
	ポルトの緩み、脱落	—					
	ひびわれ	—					
	漏水・遊離石灰	—					
高欄工 (コン部材)	剥離、鉄筋露出、浮き	—					
	豆板、欠損	—					
	腐食・塗装劣化	○	I	I	×		
	ポルトの緩み、脱落	—					
	ひびわれ	—					
コンクリート試験結果	圧縮強度	○	—	問題なし			
	中性化深度測定	○	×	中性化残り深さ10mm以下	○	含浸材塗布工	
	塩化物含有量試験	○	—	問題なし			
	中性化深度測定	○	×	中性化残り深さ10mm以下	○	含浸材塗布工	
	塩化物含有量試験	○	—	問題なし			

注記) ハッチング部は、損傷の判定区分IIIもしくはコンクリート試験のN6を示す。

コンクリート試験結果 (R7.11)

項 目	単 位	評価値	仕様値	判定	備 考
圧縮強度	N/mm ²	14.4	42.3	○	○:14.4以上
中性化	深 さ	mm	20.3		
	鉄筋露出	mm	23.0		
	残り深さ	mm	10	×	○:10以上
	到達年数	年	100	×	○:100以上
塩化物含有量試験	kg/m ³	1.2	0.31	○	○:1.2以下

塗膜調査結果 (R1.11)

有害物質	試験結果	備 考
PCB	0.74mg/kg	0.5以下
鉛	22%	0.06以下
六価クロム	0.19%	1以下

注記)
・現況地形は道路台帳を基に作成している。
・既設橋の形状は現地踏査に基づき作成している。
・渡河する河川は川の町管理である。
・長又川を渡河する本橋梁は砂防指定区域内にある。
※砂防区域は河川中心線から左右50mの範囲

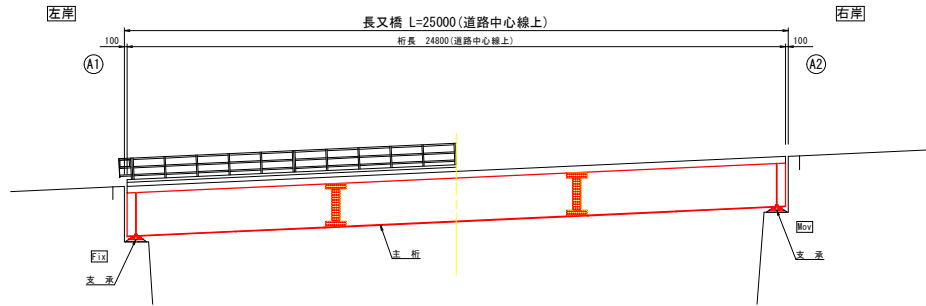
い の 町

工事種別	8道メ第20号 令和8年度 町道一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事
図面名称	橋梁補修工一般図
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)
工事箇所	高知県 吾川郡 一の町 吾川
設計種別	実施図
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課
図 面 番 号	3 12
社 会 名	

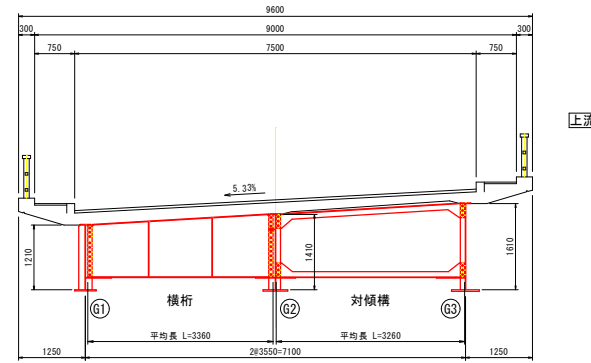
塗替え塗装工詳細図(その1)

長又橋(一の谷寒風線)

側面図
S=1:100



断面図
S=1:50



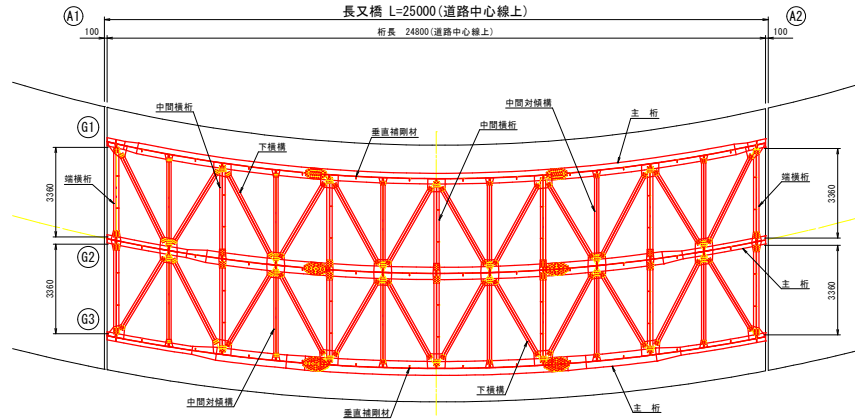
塗装工仕様
(Rc-I塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)
素地調整	I種ケレン	
下塗	有機ジンクリッチペイント	600
下塗	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下塗	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中塗	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料用中塗	170
上塗	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料上塗	140

塗膜調査結果(R1.11)

有害物質	試験結果	備考
PCB	0.74mg/kg	0.5以下
鉛	22%	0.06以下
六価クロム	0.19%	1以下

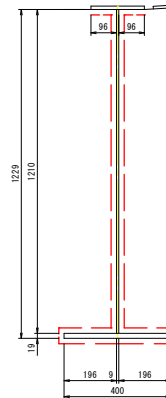
平面図
S=1:100



塗装範囲図
S=1:10

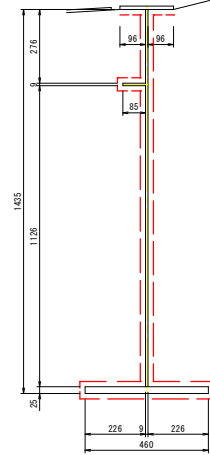
主桁G1
角部: 4箇所

鋼材長 L=24.80m



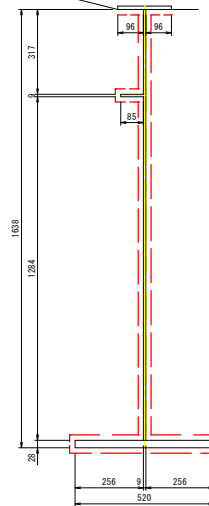
主桁G2
角部: 6箇所

鋼材長 L=24.80m



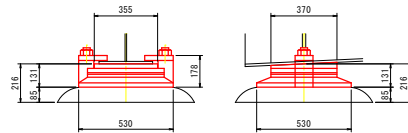
主桁G3
角部: 6箇所

鋼材長 L=24.80m

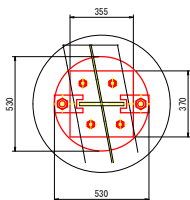
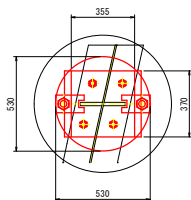
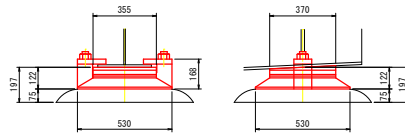


支承詳細図
S=1:15

固定支承

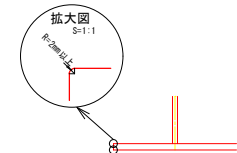


可動支承



詳細図
S=1:5

○: 角部処理



注記)
・既設橋の鋼材に面取り等の角部処理が行われていない場合は、塗替え塗装前にR=2mm以上の面取りを行う。

注記)

- ・施工前に現地調査を実施し、補修箇所や形状などを確認すること。
- ・塗装面積は主部材や副部材の主たる数量を計上しており、副部材の延長は全箇所の平均長により計上している。
- ・支承は複雑な形状をしていることから、平面積により数量を算出する。
- ・塗装面積は現地計測に応じて適宜変更すること。
- ・有害物含有試験の結果、PCBと鉛の含有が確認されたため、剥ぎ取った塗膜材料はクリーンルームに保管するなど適切に処理すること。
- ・現場塗装のため、塗装工は「Rc-I塗装系」とする。

いの町

工事種別	8道メ第20号
令和3年度	市道一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事
図面名称	塗替え塗装工詳細図 (その1)
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)
工事箇所	高知県 香川県 いの町 桑瀬
設計種別	実施図
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課
図番	4
会社名	12

塗替え塗装工詳細図(その2)

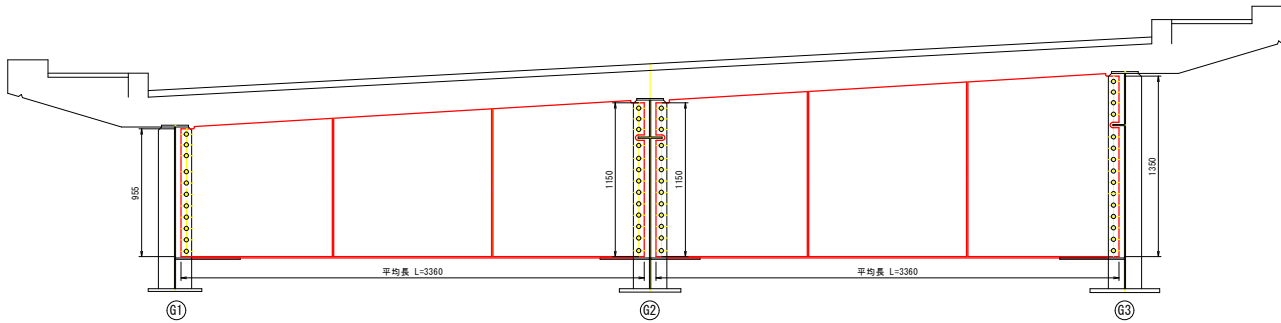
長又橋(一の谷寒風線)

塗装範囲図

S=1:20

横桁(正面図)

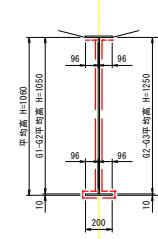
角部: 4箇所



横桁(断面図)

角部: 4箇所

鋼材長 61-62間 L=3.36m
鋼材長 62-63間 L=3.36m



副部材の平均長

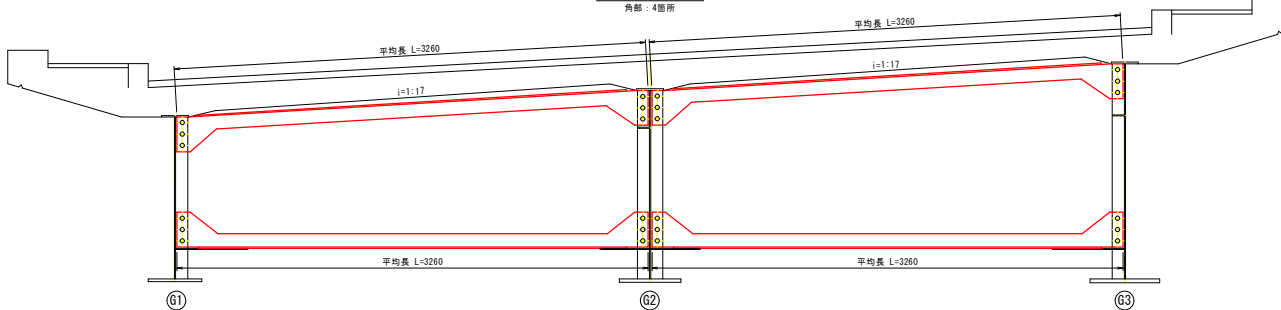
	61-62	62-63
	3670	3120
下横構	3200	3540
	3540	3200
	3240	3420
	3420	3240
	3420	3240
	3310	3310
	3310	3310
	3420	3420
	3240	3420
	3540	3200
	3200	3540
	3670	3120
平均長	3360	3360

	61-62	62-63
	3360	3360
対傾構	3290	3290
	3260	3260
	3240	3240
	3240	3240
	3260	3260
	3290	3290
	3360	3360
	3360	3360
	3260	3260
	3290	3290
平均長	3260	3260

対傾構	61-62	62-63
	3290	3290
	3260	3260
	3240	3240
	3240	3240
	3260	3260
	3290	3290
	平均長	3260

対傾構

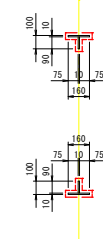
角部: 4箇所



対傾構(断面図)

角部: 6箇所

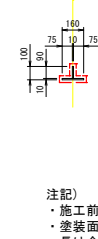
鋼材長 61-62間 L=3.26m
鋼材長 62-63間 L=3.26m



下横構(断面図)

角部: 6箇所

鋼材長 L=3.35m



注記)

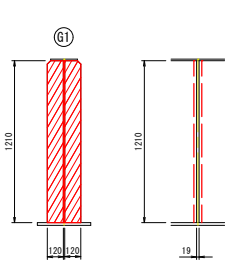
- ・施工前に現地調査を実施し、補修箇所や形状などを確認すること。
- ・塗装面積は主部材や副部材の主たる数量を計上しており、副部材の延長は全箇所の平均長により計上している。
- ・支保は複雑な形状をしていることから、平面積により数量を算出する。
- ・塗装面積は現地計測に応じて適宜変更すること。
- ・有害物含有試験の結果、PCBと鉛の含有が確認されたため、剥ぎ取った塗膜材料はクリーンルームに保管するなど適切に処理すること。
- ・現場塗装のため、塗装工は「Rc-I塗装系」とする。

G1垂直補剛材(端部)

角部: 4箇所

箇所数: n=2箇所

正面図 断面図

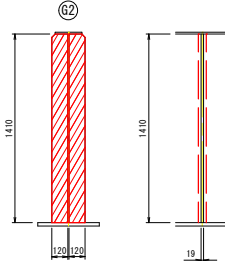


G2垂直補剛材(端部)

角部: 4箇所

箇所数: n=2箇所

正面図 断面図

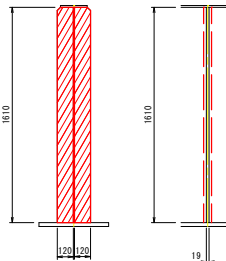


G3垂直補剛材(端部)

角部: 4箇所

箇所数: n=2箇所

正面図 断面図

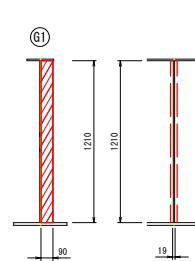


G1垂直補剛材(中間部)

角部: 4箇所

箇所数: n=22箇所

正面図 断面図

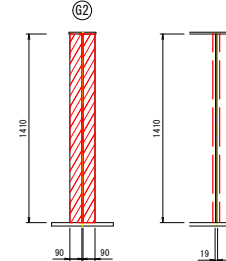


G2垂直補剛材(中間部)

角部: 4箇所

箇所数: n=11箇所(片側設置)
箇所数: n=11箇所(両側設置)

正面図 断面図

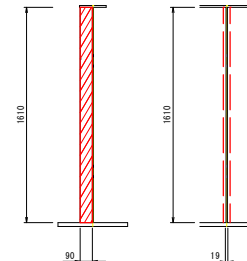


G3垂直補剛材(中間部)

角部: 4箇所

箇所数: n=22箇所

正面図 断面図



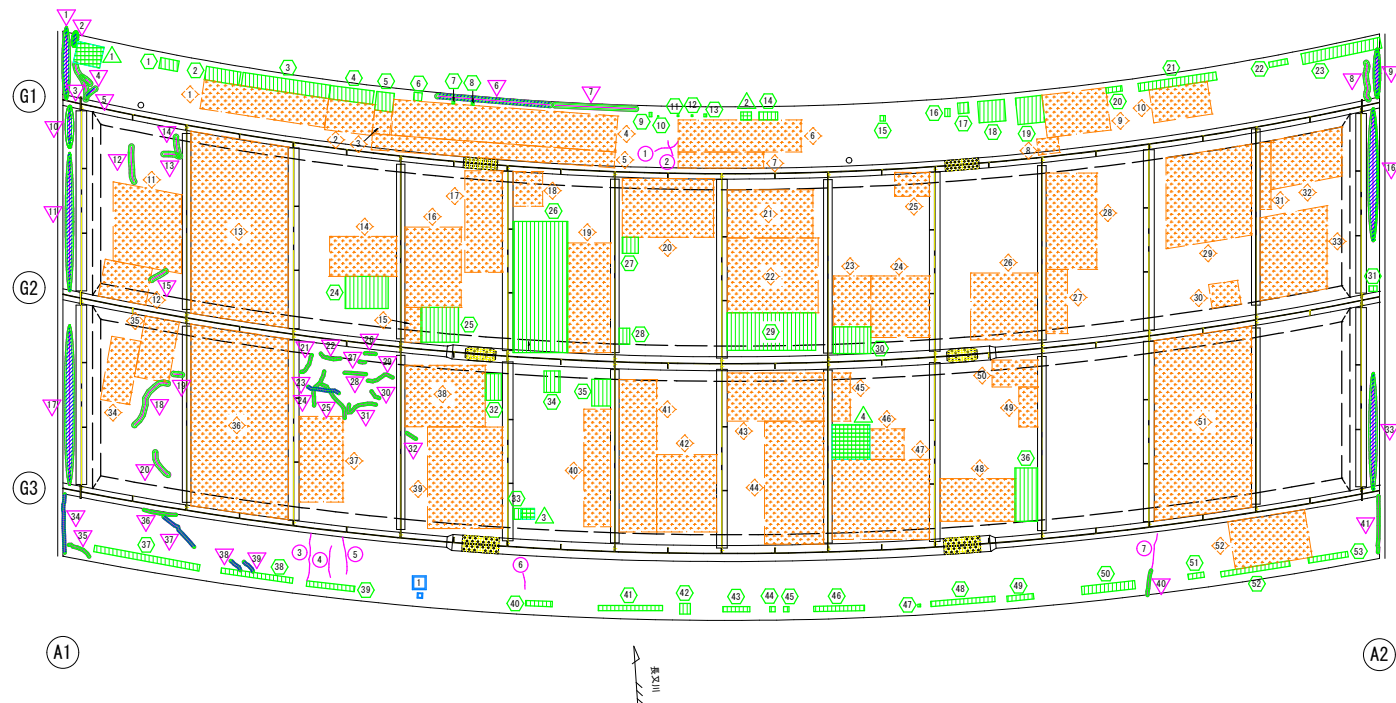
いの町

工事種別	8選メ第20号 令和8年度 街道一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事		
図面名称	塗替え塗装工詳細図 (その2)	縮尺	図示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)		
工事箇所	高知県 香川郡 いの町桑瀬		
設計種別	実施図	図面 番号	5 12
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課		
会社名			

コンクリート補修工詳細図(その1)

長又橋(一の谷寒風線)

平面図
S=1:50



損傷凡例(コンクリート)

記号	番号	損傷	状態	有無	作因	補修対象
〇	1	ひびわれ(深<0.2mm)	〇	〇	〇	〇
△	2	ひびわれ(0.2mm≦深<1.0mm)	〇	〇	〇	〇
▽	3	ひびわれ(1.0mm≦深)	〇	〇	〇	〇
◇	4	道床石灰	〇	〇	〇	〇
□	5	漏水	〇	〇	〇	〇
◇	6	剥離	〇	〇	〇	〇
◇	7	鉄筋露出	〇	〇	〇	〇
◇	8	浮き	〇	〇	〇	〇
◇	9	豆板	〇	〇	〇	〇
◇	10	欠損	〇	〇	〇	〇
◇	11	洗掘	〇	〇	〇	〇

・損傷のある場合は「〇」を示す。

床版下面 数量表

〇 △ 損傷 : ひびわれ(深=0.2mm以上)
対策工 : ひびわれ注入工

番号	W(mm)	L(mm)
1	0.25	500
2	0.25	300
3	0.20	900
4	0.20	600
5	0.20	700
6	0.20	300
7	0.20	750
合計		4050

△ 損傷 : 逆層石灰
対策工 : ひびわれ充填工

番号	L(mm)	番号	L(mm)
1	1200	15	300
2	200	16	2400
3	700	17	2950
4	200	18	1100
5	200	19	150
6	2100	20	500
7	1500	21	400
8	700	22	400
9	900	23	600
10	750	24	700
11	2400	25	800
12	650	26	200
13	270	27	100
14	370	28	400
合計		31740	

△ 剥離
対策工 : 剥離修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
1	100	100	0.010
合計			0.01

△ 浮き
対策工 : 断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
1	500	400	0.200
2	200	150	0.030
3	200	250	0.050
4	700	650	0.455
合計			0.74

△ 鉄筋露出
対策工 : 断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)	番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)	番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
1	350	200	0.070	19	500	500	0.250	37	2000	150	0.300
2	650	250	0.163	20	300	100	0.030	38	100	1350	0.135
3	1650	250	0.413	21	1100	150	0.165	39	900	100	0.090
4	820	250	0.205	22	250	100	0.025	40	500	100	0.050
5	330	350	0.116	23	1500	200	0.300	41	1200	100	0.120
6	150	150	0.023	24	800	600	0.480	42	200	200	0.040
7	50	50	0.003	25	700	650	0.455	43	500	100	0.050
8	50	50	0.003	26	1100	2450	2.695	44	100	100	0.010
9	50	80	0.004	27	300	300	0.090	45	100	100	0.010
10	20	20	0.000	28	300	200	0.060	46	950	100	0.095
11	30	30	0.001	29	1650	700	1.155	47	50	50	0.003
12	30	30	0.001	30	700	500	0.350	48	1200	100	0.120
13	50	50	0.003	31	150	100	0.015	49	500	100	0.050
14	350	150	0.053	32	500	300	0.150	50	1000	150	0.150
15	100	100	0.010	33	150	200	0.030	51	300	100	0.030
16	100	150	0.015	34	400	300	0.120	52	100	1300	0.130
17	200	200	0.040	35	500	350	0.175	53	750	100	0.075
18	500	400	0.200	36	500	1000	0.500	合計			9.83

△ 豆板
対策工 : 一

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)	番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)	番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
1	2350	550	1.293	19	800	2050	1.640	36	1600	3000	4.800
2	880	580	0.510	20	1700	1100	1.870	37	850	1600	1.360
3	330	430	0.142	21	1600	900	1.440	38	1500	1150	1.725
4	4200	670	2.814	22	1700	1400	2.380	39	1400	1900	2.660
5	4550	300	1.365	23	700	950	0.665	40	500	2200	1.100
6	2300	600	1.380	24	1100	1150	1.265	41	2850	700	1.995
7	1600	300	0.480	25	650	450	0.293	42	1150	1450	1.668
8	400	300	0.120	26	1250	1250	1.563	43	1900	900	1.710
9	1200	800	0.960	27	400	1200	0.480	44	1100	2300	2.530
10	1470	620	0.911	28	950	1800	1.710	45	400	900	0.360
11	1300	1450	1.885	29	1600	1700	2.720	46	650	570	0.371
12	900	700	0.630	30	550	450	0.248	47	1900	1500	2.850
13	1900	3100	5.890	31	200	1250	0.250	48	1400	800	1.120
14	1250	150	0.188	32	1350	900	1.215	49	350	700	0.245
15	300	650	0.195	33	1250	1550	1.938	50	850	500	0.425
16	1050	1500	1.575	34	550	1200	0.660	51	3370	1770	5.965
17	700	1900	1.330	35	650	1150	0.748	52	1450	900	1.305
18	550	650	0.358	合計							75.30

注記)
・豆板は広範囲に損傷が見られるが、表面的な損傷が大半であるため
現時点では構造低下の影響が小さいと判断し、補修対象外としている。
・補修の要否を現地状況に応じて施工時に再検討すること。

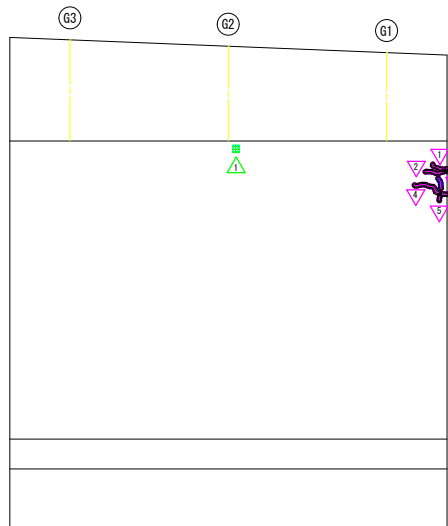
いの町

工事種別	8道メ第20号 令和5年度 町道一の谷寒風線長又橋補修工事
図面名称	コンクリート補修工詳細図 (その1)
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)
工事箇所	高知県 香川郡 いの町 桑瀬
設計種別	実地調査
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課
会社名	

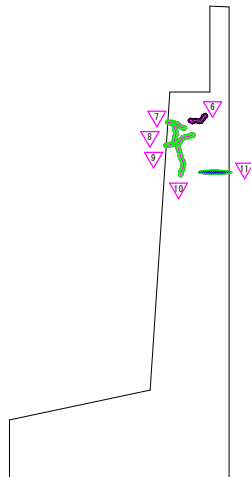
コンクリート補修工詳細図(その2)

長又橋(一の谷寒風線)

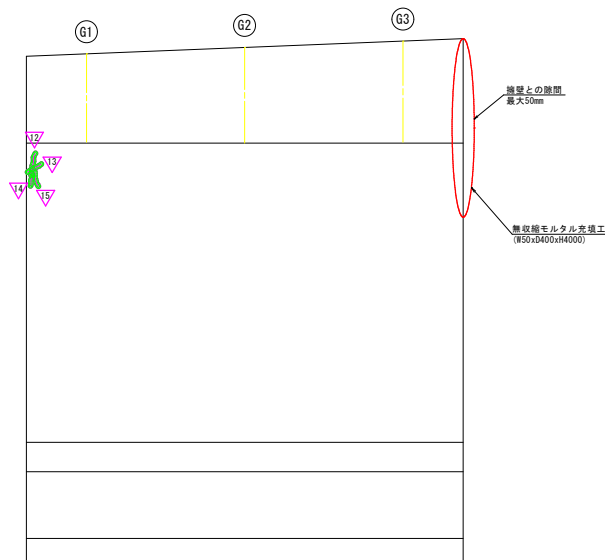
A1橋台
S=1:60



下流側側面



A2橋台
S=1:60



下部構造 数量表

▽ 損傷 : 遊離石灰 対策工 : ひび割れ充填工				△ 損傷 : うき 対策工 : 断面修復工			
番号	L (mm)	番号	L (mm)	番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	350	9	670	1	150	150	0.023
2	400	10	650	合計			0.02
3	250	11	650				
4	650	12	500				
5	280	13	350				
6	400	14	250				
7	500	15	350				
8	450	合計	6700				

損傷凡例(コンクリート)

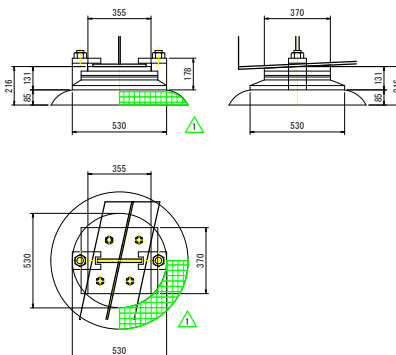
記号	番号	損傷		有無	作図	補修対象
		状態				
~~~~	◇	ひびわれ (深<0.2mm)				
~~~~	○	ひびわれ (0.2mm<深<1.0mm)				
~~~~	◇	ひびわれ (1.0mm<深)				
▽	▽	遊離石灰		○	○	○
△	△	湧水				
□	□	剥離				
◇	◇	鉄筋露出				
△	△	浮き		○	○	○
◇	◇	豆板				
△	△	欠損				
△	△	洗掘				

・損傷のある場合は「○」を示す。

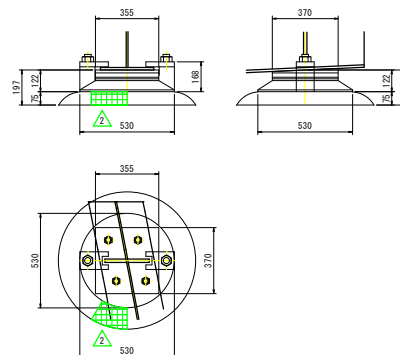
注記)  
・モルタル充填範囲は現地状況に応じて適宜変更すること。

支承詳細図  
S=1:15

A1橋台G3  
固定支承



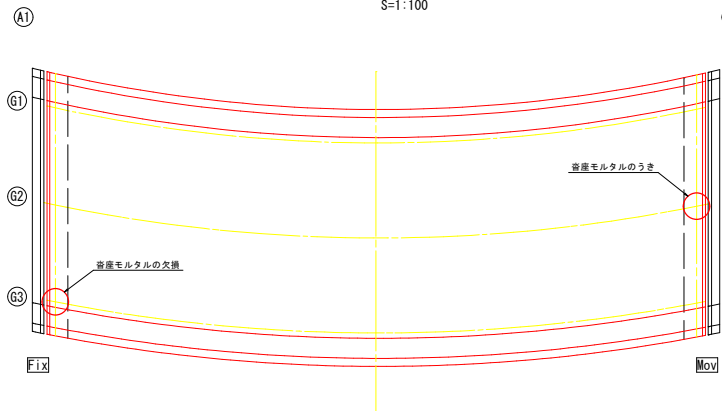
A2橋台G2  
可動支承



支承 数量表

△ 損傷 : うき 対策工 : 断面修復工			
番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	400	100	0.040
2	200	100	0.020
合計			0.060

位置図  
S=1:100



注記)  
・資産モルタルは表面的な損傷であるため、断面修復工にて補修を行う。  
はつり工を実施する際は、既設構造物に影響を与えないよう注意すること。

いの町			
工事種別	8連メサ20号 令和3年度 第一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事		
図面名称	コンクリート補修工詳細図(その2)	縮尺	図示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)		
工事箇所	高知県 香川郡 いの町桑瀬		
設計種別	実地図	図面番号	7 12
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課		
会社名			

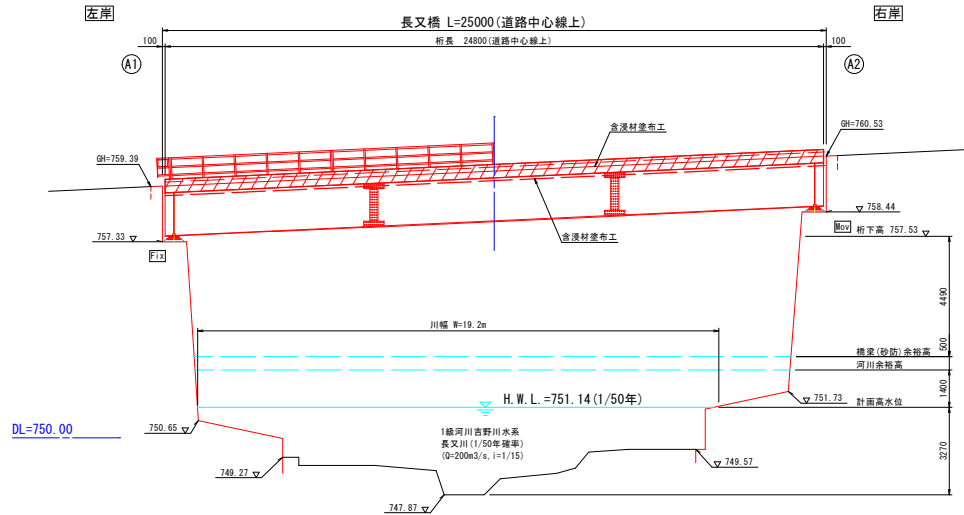


# 含浸材塗布工詳細図

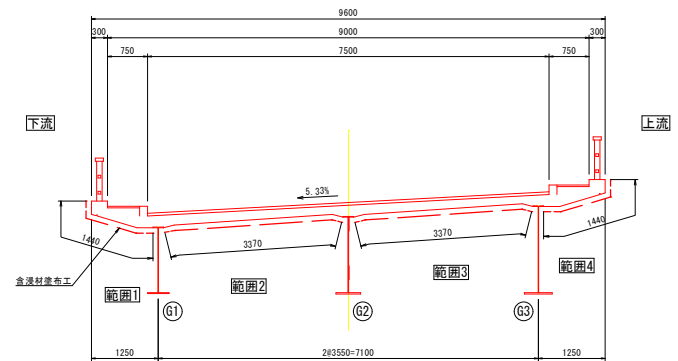
長又橋(一の谷寒風線)

## 中性化対策工

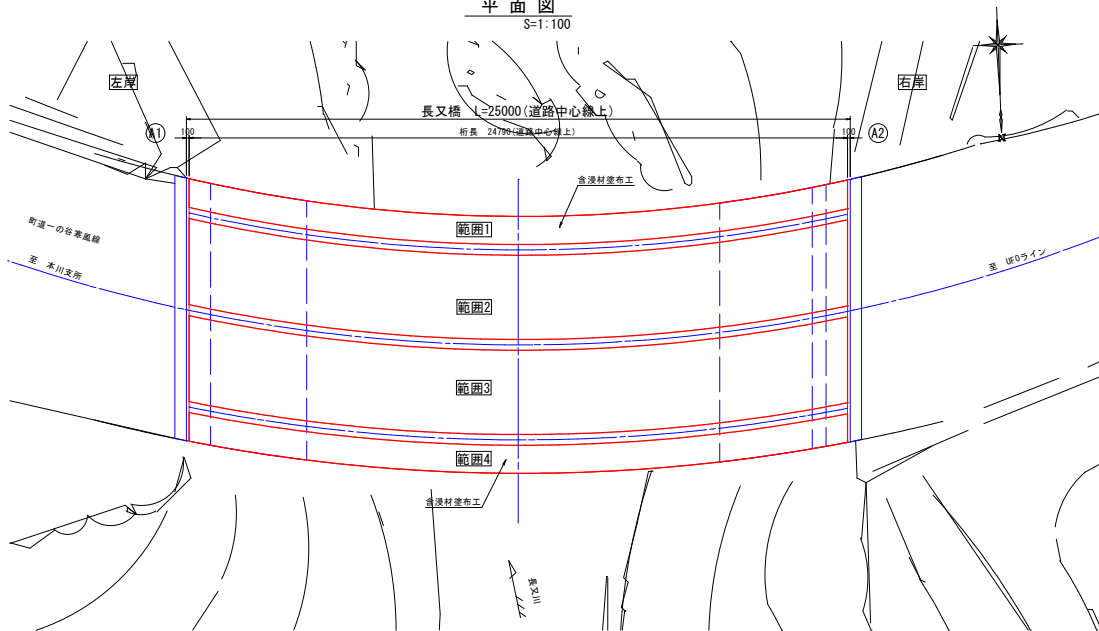
側面図  
S=1:100



断面図  
S=1:50



平面図  
S=1:100



含浸材塗布面積

部位	幅 (m)	延長 (m)	面積 (m ² )
範囲1	1.44	24.79	35.70
範囲2	3.37	24.79	83.54
範囲3	3.37	24.79	83.54
範囲4	1.44	24.79	35.70
合計	-	-	238.48

含浸材塗布量 (参考材料: リフレα40)

部材名	鉄筋	鉄筋径 (mm)	かぶり		塩分量 (kg/m ³ )	モル比 (%)	計算係数	塗布量		備考
			線端 (cm)	中心 (cm)				計算値 (kg/m ² )	設計値 (kg/m ² )	
RC床版	主鉄筋	φ19	2.3	3.3	1.20	1:1	0.0373	0.145	α40	
	配力筋	φ19	4.2	5.2	1.20	40%	0.0373	0.231	0.25	

・塗布量計算値=中心かぶり×塩分量×計算係数  
・中性化対策のため、塩分量を1.20と仮定して塗布量を算出する。  
・含浸材の塗布量は製品により異なるため、施工時に適宜検討すること。  
・施工範囲は現地実測の上、適宜変更すること。

係数一覧

モル比	濃度 (%)	係数
0.6	25	0.0358
0.6	40	0.0224
1	25	0.0596
1	40	0.0373

コンクリート試験結果 (R7.11)

項目	単位	評価値	床版下面		備考
			調査値	判定	
圧縮強度	N/mm ²	14.4	42.3	○	○:14.4以上
中性化	深さ	mm	20.3		
	鉄筋筋かぶり	mm	23.0		
	残り深さ	mm	10	×	○:10以上
	到達年数	年	100	×	○:100以上
塩化物含有量試験	kg/m ³	1.2	0.31	○	○:1.2以下

## いの町

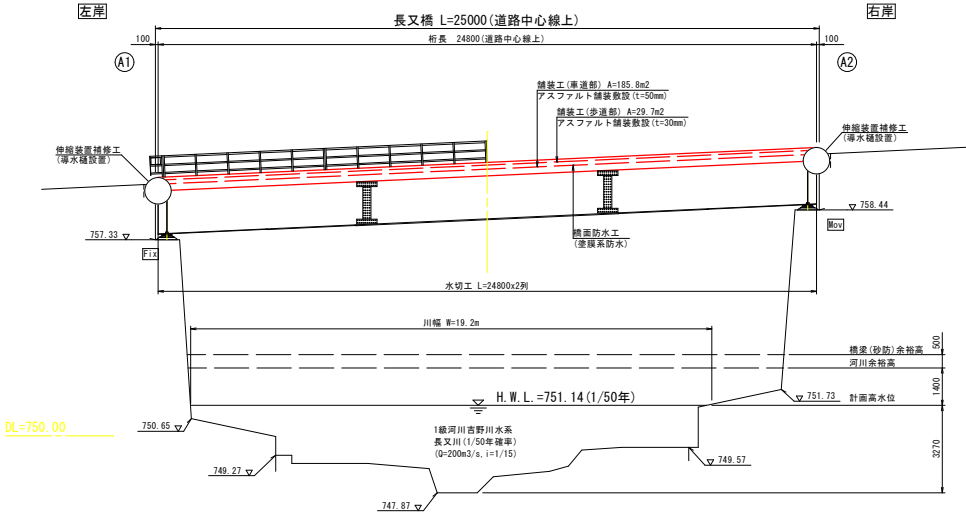
工事種別	8選メ第20号 令和8年度 町道一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事		
図面名称	含浸材塗布工詳細図	縮尺	図示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)		
工事箇所	高知県 香川郡 いの町桑瀬		
設計種別	実地型		
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課	図面番号	9 12
会社名			

橋面補修工詳細図(その1)

長又橋(一の谷寒風線)

側面図

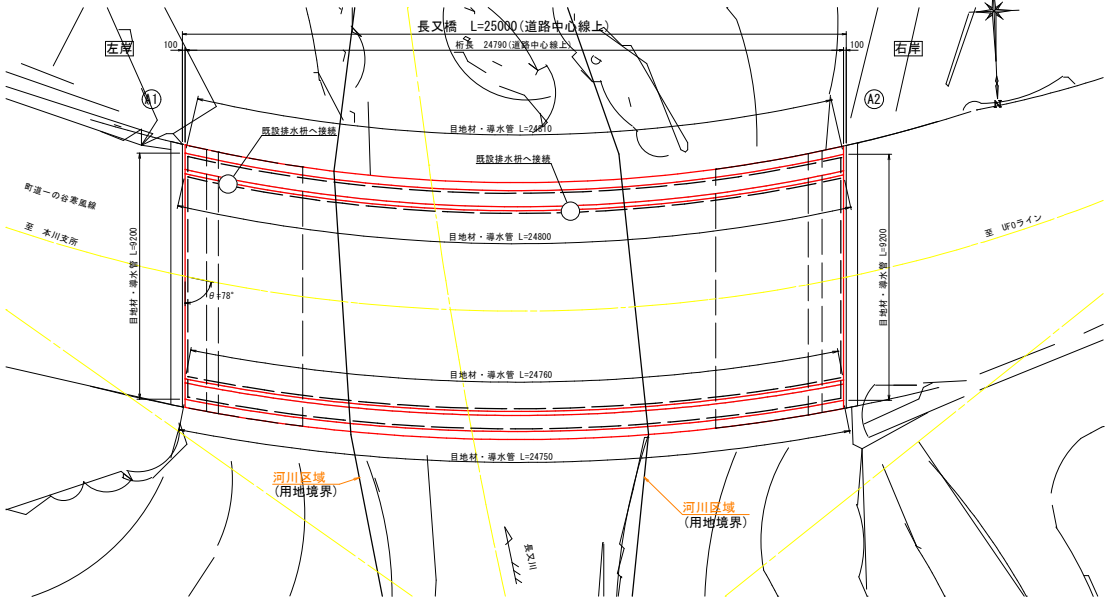
S=1:100



DL=750.00

平面図

S=1:100



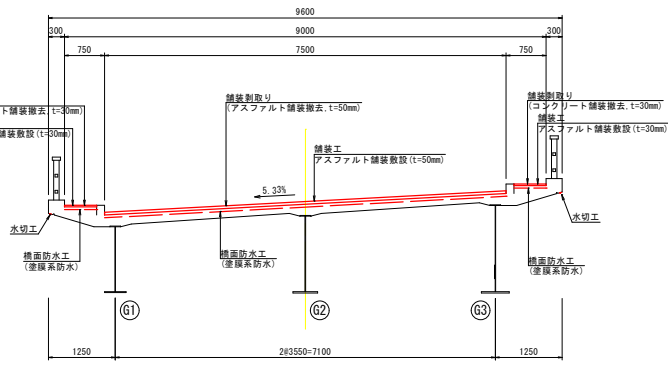
目地材・導水管数量表

	橋軸方向			橋軸垂直方向			合計
	下流車道	上流車道	下流歩道	A1側	A2側		
成型目地材	24800	24760	24810	24750	9200	9200	117520
端部目地処理材	24800	24760	24810	24750	9200	9200	117520
導水管	24800	24760	24810	24750	9200	9200	117520

注記) ・使用材料の設置延長や設置位置等は現地状況に応じて適宜調整すること。

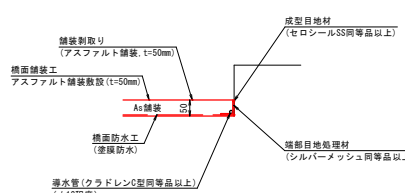
断面図

S=1:50



橋面補修工断面図(車道部)

S=1:10

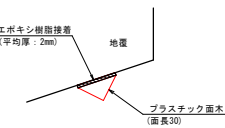


注記)

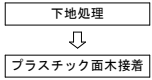
- ・橋面防水工の設置面積は舗装工と同等とする。
- ・端部目地処理材や整形目地材の延長は桁長で算出している。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

水切工

S=1:2



水切工施工フロー



注記)

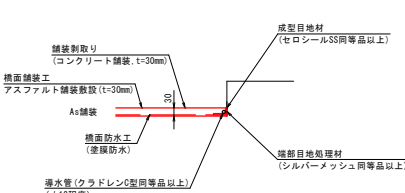
- ・本図ではプラスチック面木としている。
- ・使用形式については、アングル形式等も含めて施工時に確認すること。

凡 例		
種 別	着 色	面積(m2)
As舗装敷設(車道)		185.8
As舗装敷設(歩道)		29.7

※面積はCAD上で算出

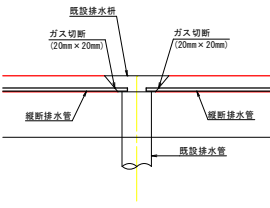
橋面補修工断面図(歩道部)

S=1:10



接続部詳細図

S=1:10



いの町

工事種別	8道メ第20号
令和8年度	町道一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事
図面名称	橋面補修工詳細図(その1)
縮 尺	図 示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)
工事箇所	高知県 香川郡 いの町桑瀬
設計種別	実地調査
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課
図 面 番 号	10
会 社 名	12

# 橋面補修工詳細図(その2)

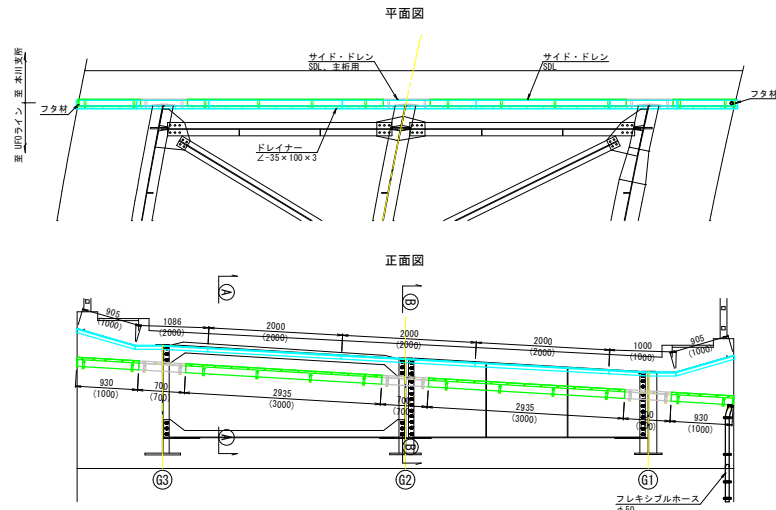
長又橋(一の谷寒風線)

## 伸縮装置補修工詳細図 (参考図)

(導水樋設置)

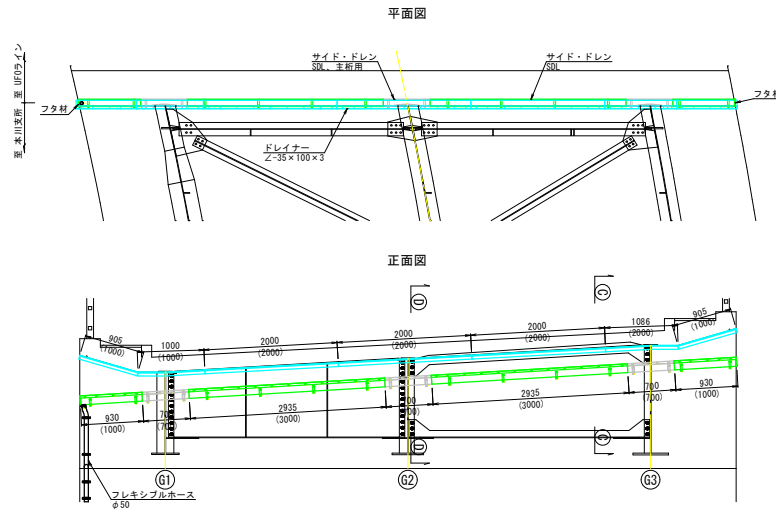
A1橋台詳細図

S=1:40

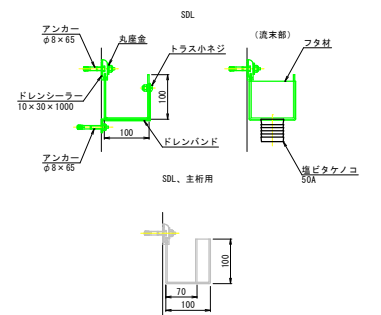


A2橋台詳細図

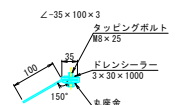
S=1:40



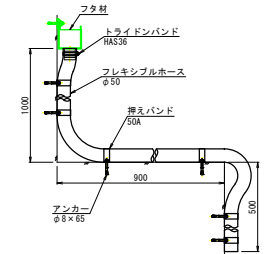
サイド・ドレン断面図 S=1:6



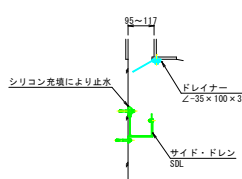
ドレナー断面図 S=1:6



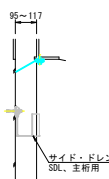
流末部 S=1:12



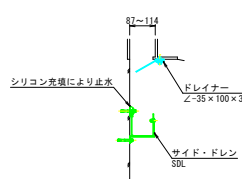
A-A断面 S=1:12



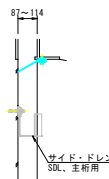
B-B断面 S=1:12



C-C断面 S=1:12



D-D断面 S=1:12



導水樋数量表

名称	規格	単位	A1			A2			計	備考
			サイド	ドレナー	排水管	サイド	ドレナー	排水管		
サイド・ドレン	SDL-L1000	本	2			2			4	
サイド・ドレン	SDL-L3000	本	2			2			4	
サイド・ドレン	SDL主筋用-L700	本	3			3			6	
ドレンシーラー	10×30×1000	本	10.1			10.1			20.2	
ドレンバンド	SDL-SUS304	本	18			18			36	付属品含む
ジョイント	SDL	ヶ	6			6			12	
フタ材	SDL-PVC	ヶ	2			2			4	
流末パイプ溶接		ヶ所	1			1			2	
塩ビタケノコ	50	ヶ	1			1			2	
ドレナー	Z-35×100×3-L1000	本		3			3		6	
ドレナー	Z-35×100×3-L2000	本		4			4		8	
ドレンシーラー	3×30×1000	本		11.0			11.0		22.0	
ジョイント	ドレナー-35×100	ヶ		4			4		8	
フレキシブルホース	QL50	m			2.4			2.4	4.8	
トライドンバンド	HAS36-SAE301	ヶ			1			1	2	
押えバンド	50A-SUS304	ヶ			6			6	12	
アンカー	φ8×65-SUSXM7	本	66		12	66		12	156	緩み止めナット付
タッピングボルト	M8×25-SMRCH20K	本		48			48		96	
丸座金	φ24/φ8.5×1.5-SUS304	ヶ		48			48		192	付属品含む

注記)  
・使用する材料名は参考とし、同等品以上の製品を選定すること。

注記)  
・( ) 内寸法は材料寸法を示す。  
・使用形式や寸法等は現地測量後に決定すること。  
・取付方法等は現地状況に応じて適宜変更すること。

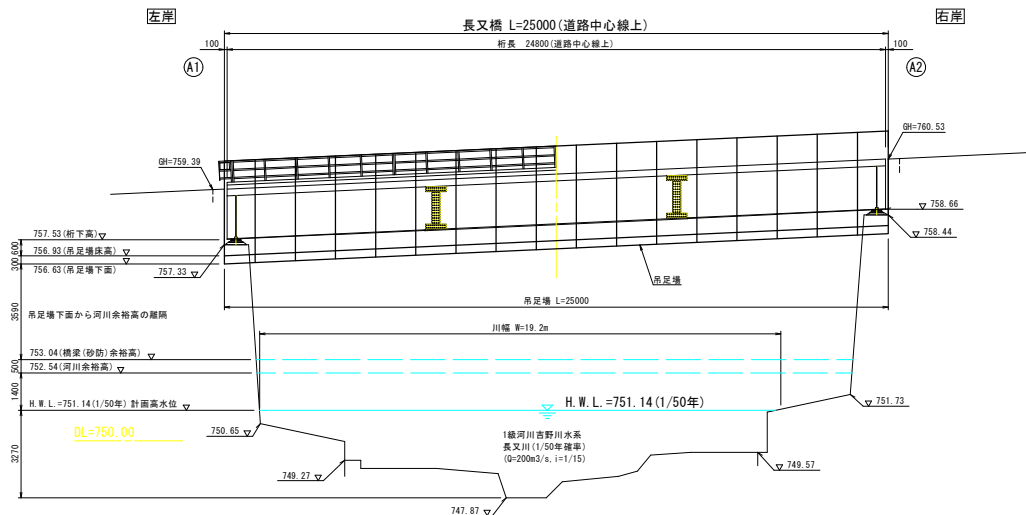
## いの町

工事種別	8道メ第20号 令和3年度 町道一の谷寒風線長又橋橋梁補修工事
図面名称	橋面補修工詳細図(その2) 縮尺 図示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)
工事箇所	高知県 吾川郡 いの町 桑瀬
設計種別	実地調査
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課
図面番号	11 12
会社名	

# 仮設工詳細図(参考図)

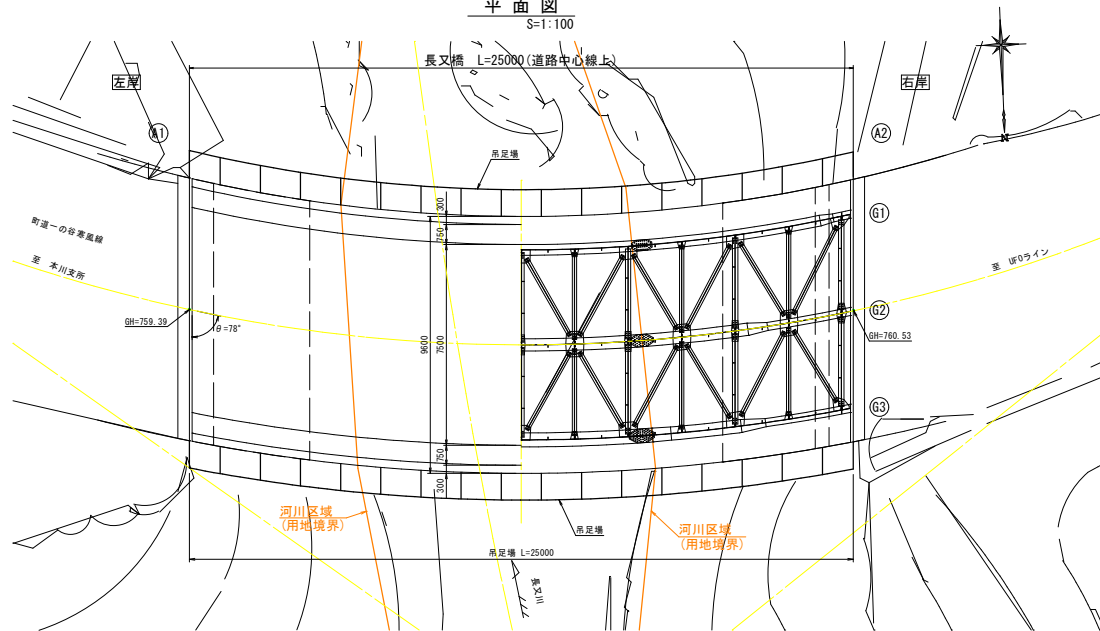
長又橋(一の谷寒風線)

側面図  
S=1:100

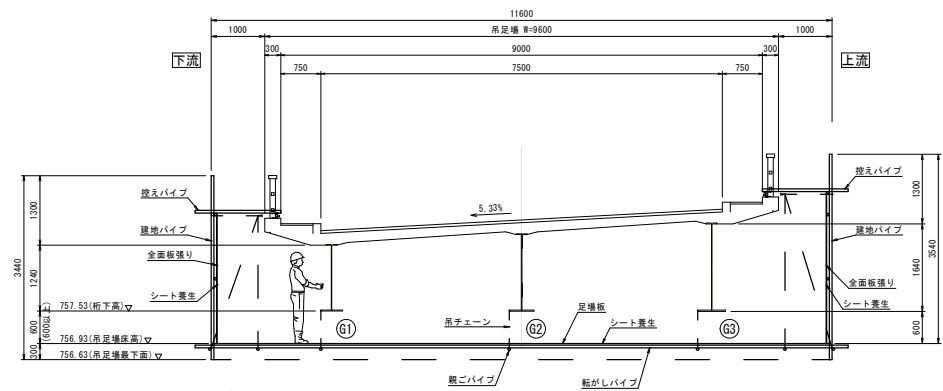


- 注記)
- ・渡河する河川はいの町管理である。
  - ・長又川を渡河する本橋梁は砂防指定区域内にある。
  - ※砂防区域は河川中心線から左右50mの範囲

平面図  
S=1:100



仮設工断面図  
S=1:50



- 注記)
- ・吊足場の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
  - ・吊りチェーンの底荷部材については、施工時に検討すること。

河川条件		
河川名(管理者)	吉野川水系長又川(いの町)	吉野川水系シドウ谷(いの町)
砂防指定地(管理者)	砂防指定(高知県)	砂防指定(高知県)
河川改修計画	当該区間なし	当該区間なし
降雨確率年	1/50年確率	1/50年確率
計画高水流量	Q=200m ³ /s	Q=300m ³ /s
土砂含有率	10%(整備状況不明)	10%(整備状況不明)
高水位算出方法	等流計算	等流計算
堤防余裕高	h=1.40m(h=3.27×0.4+1.31)	h=1.30m(h=3.25×0.4+1.30)

- [施工に関する注意事項]
- ・仮設工の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
  - ・河川内での作業は非出水期(11~2月)を基本とすること。
  - ・通年施工の可否については、河川管理者及び砂防管理者と協議のうえ決定すること。
  - ・出水状況について十分に注意すること。
  - ・環境対策を十分に行うこと。
  - ・騒音・振動の低減、水質汚濁の防止、大気汚染や粉塵飛散の防止、悪臭発生の防止
  - ・通行に関する安全対策を十分に実施し、一般車両や歩行者の安全を確保すること。
  - ・想定以上の水位上昇が懸念される場合、直ちに作業を中止し仮設材を撤去すること。

## いの町

工事種別	8道メ第20号 令和8年度 町道一の谷寒風線長又橋梁架設補修工事		
図面名称	仮設工詳細図	縮尺	図示
路線河川名	長又橋(一の谷寒風線)		
工事箇所	高知県 香川郡 いの町桑瀬		
設計種別	実施図	図面 番号	12
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課		12
会社名			